

# なかつか 亮



2014年1月26日(日)

NO421

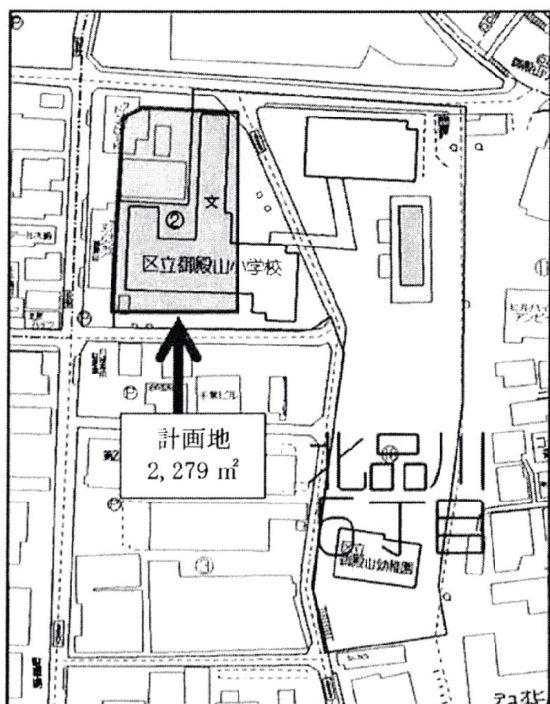
区議控室 Tel 5742-6818

事務所 大井3-19-7-101

Tel 3773-3231

## 老人保健施設の増設が 発表

北品川で100床程 4年後に完成予定



### 計画概要(予定)

所在地 : 北品川5丁目

敷地面積 : 2,279 m²

施設 : 老健100床、文化  
教育施設等の複合施設

完成 : 平成30年度

品川区内で2ヶ所目となる老人保健施設(老健)の増設計画が明らかになりました。品川区内では現在、老健は南大井にある『さくら会』一ヶ所のみ。今回の施設が完成すれば、実に18年ぶりの増設です。粘り強い増設を求める住民運動が力となり、特養ホームとあわせ、ついに老健の増設も前進しました。

老健とは介護が必要な高齢者にリハビリや生活サービスを提供し、在宅復帰を支援する施設のことです。

品川区内には老健は一ヶ所のみで、整備率は都内23区で22番目と最低レベル。「リハビリを受けたくても利用ができない」などの声が上がっていました。

共産党は特養と合わせて老健の増設を繰り返し提案。住民署名も広がる中、ついに実現です。運営者や併設される施設など詳細はこれからですが、大きな前進。さらなる増設に力を注ぎます。

住民泣かせの29号線、31号線、28号線…

# 無駄な道路計画は中止し

震災の被害を防ぐ対策、認可保育園や特養ホーム増設こそ急務



19日（日）、道路計画を白紙にさせようと「道路問題しながわ連絡会」の結成総会が荏原第五区民集会所で開かれ、会場一杯の120名が参加。テレビ朝日の取材がありました。

阪神淡路大震災から19年、東日本大震災からまもなく3年です。“大震災から私たちは何を学ぶのか？”区や都は「自助」を強調しますが、被害の多くは個人の努力不足が原因ではありません。住宅耐震化や家具の転倒防止、火災の発生防止、障害者など要援護者支援など、被害を防ぐ対策徹底が十分なのです。無駄な道路建設は中止し、被害を防ぐ対策の徹底、認可保育園や特養ホームなど暮らし応援の政治に転換させましょう。

## 耐震補強こそ

阪神淡路大震災の死亡原因は家屋の倒壊等による圧死が8割、火災による焼死が1割。焼死も多くが建物が倒壊したために逃げる事が困難だったと報告。やはり何よりも住宅の耐震化が急務です。

また被災住宅に対して、解体費用や復興住宅などの建設で総額一戸あたり3700万円の公費が投入（一本橋大学教授試算）。あらかじめ耐震補強を済ませておけば、家屋の倒壊

は免れ、命を守り、巨額の公費を投入せずに済みます。

## 出火7割は電気

また震災時の火災原因も7割が電気が復旧した際に発生した通電火災。地震の震動を感じし電気のブレーカーを遮断する感震ブレーカー設置で、被害を減らすことは可能です。

やはり急がれている対策、必要な対策は道路建設ではありません。無駄な道路建設は中止を。今年も頑張ります。

なかつか亮



今年も毎週火曜日12時半より区役所前行動を実施中。是非、ご参加を！

## 今月の『気軽な町の無料法律相談会』のお知らせ

2月14日（金） 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所  
弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください  
連絡先 昼：区議控室 5742-6818 夜：事務所 3773-3231